

登録用紙

記入日: 年 月 日

クラブ名	メンバー人数 (子ども)	人
	サポーター人数 (大人)	人
メンバー学年内訳 ※年齢・学年は、年度当初(4月)時点をご記入ください。 ※高校生記入欄は、同年齢のメンバーも各学年にあてはめて、記入してください。サポーターとしても登録できます。	<input type="checkbox"/> 幼児(3歳) 人 <input type="checkbox"/> 小学1年生 人 <input type="checkbox"/> 小学2年生 人 <input type="checkbox"/> 小学3年生 人 <input type="checkbox"/> 小学4年生 人 <input type="checkbox"/> 小学5年生 人 <input type="checkbox"/> 小学6年生 人 <input type="checkbox"/> 中学1年生 人 <input type="checkbox"/> 中学2年生 人 <input type="checkbox"/> 中学3年生 人 <input type="checkbox"/> 高校1年生 人 <input type="checkbox"/> 高校2年生 人 <input type="checkbox"/> 高校3年生 人	<input type="checkbox"/> 幼児(4歳) 人 <input type="checkbox"/> 小学2年生 人 <input type="checkbox"/> 小学3年生 人 <input type="checkbox"/> 小学4年生 人 <input type="checkbox"/> 小学5年生 人 <input type="checkbox"/> 小学6年生 人 <input type="checkbox"/> 中学2年生 人 <input type="checkbox"/> 中学3年生 人 <input type="checkbox"/> 高校2年生 人 <input type="checkbox"/> 高校3年生 人
代表サポーターの連絡先	氏名	JEC活動年数
	住所 〒	年目
	TEL	※今年はじめて登録する場合、1年目と記入してください。
	FAX	
	E-mail	
活動ツール ※クラブ単位でいずれか1つを選び☑をしてください。	<input type="checkbox"/> 不要 ※不要とした場合にも、代表サポーター宛にツールを1部お送りします。 <input type="checkbox"/> メンバースタンプのみ 希望 <input type="checkbox"/> 全ツール(こどもエコクラブ手帳、メンバースタンプ、ニュースレター) 希望 ※サポーター用のツールは【大人の方へ】をご覧ください。	
グループの種類 ※該当するものに☑をしてください。	<input type="checkbox"/> 近所や地域のお友達 <input type="checkbox"/> 家族・親戚 <input type="checkbox"/> ボーイ・ガールスカウト <input type="checkbox"/> 子ども会 <input type="checkbox"/> 児童館や公民館のクラブ <input type="checkbox"/> 自治体の募集 <input type="checkbox"/> 幼稚園・保育園( <input type="checkbox"/> クラス・ <input type="checkbox"/> 全園 ) <input type="checkbox"/> 学校の( <input type="checkbox"/> クラス・ <input type="checkbox"/> クラブ・ <input type="checkbox"/> 委員会・ <input type="checkbox"/> 学年・ <input type="checkbox"/> 全校 →学校名: _____ ) ※総合学習としての実施についても記入してください。( <input type="checkbox"/> YES・ <input type="checkbox"/> NO ) ※異クラス混合の場合は学年へ、異学年混同は全校へ☑をしてください。 <input type="checkbox"/> その他( _____ )	
取り組みたい主な活動分野に☑をしてください(複数可)。	<input type="checkbox"/> ごみ・リサイクル <input type="checkbox"/> 生活・省エネ <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 自然・生物多様性 <input type="checkbox"/> 農業・栽培 <input type="checkbox"/> その他( _____ )	

【大人の方へ】

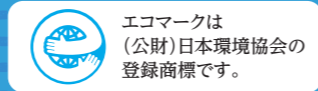
サポーターが複数人いても、活動ツールは代表サポーター用に1部のみとなりますのでご了承ください。なお、メンバースタンプは全てのサポーター人数分をお送りいたします。

- 注意事項
  - ◇活動中の第三者への事故に対応するため、クラブの登録と同時に、全国事務局がメンバー・サポーターを対象とした賠償責任保険の加入手続きを行います。名簿の提出はメンバー・サポーターともに不要ですが、賠償責任保険の手続き上、名簿は必ずクラブで備えてください。
  - ◇サポーターが複数のクラブを担当している場合には、ツールの重複を避けるため、2つ目以降のクラブでは、サポーター人数としてカウントしないでください。(クラブで備えていただく名簿には、名前を記載してください。)
  - ◇高校生は、サポーターとしても登録ができます。(代表サポーターでの登録はできません。)
  - ◇クラブ名、代表サポーターの連絡先、メンバーの人数、クラブの解散等、登録内容を変更する場合は、こどもエコクラブ全国事務局または地域事務局に必ず変更・解散届を提出してください。

●個人情報保護方針について●  
 公益財団法人日本環境協会(以下、当協会という。)は、個人情報を尊重し、個人情報保護に関する法令及びその他関係法令を遵守するとともに、当協会の個人情報保護基本方針に則って個人情報を取り扱います。  
 1. 個人情報の利用目的: 当協会は、こどもエコクラブ事業(以下、当事業という。)を行うにあたり、収集した個人情報を、当事業の支援にかかる環境関連情報の配布、賠償責任保険等の運用に必要となる情報管理、サービス等改善のための事業(アンケート調査を含みます。)の実施、新たなサービスや環境関連情報の発信、その他当事業の実施に付随する業務を行う目的の範囲内で利用します。なお、利用目的の達成に必要な範囲で第三者に業務を委託することがあります。ただし、必要な項目を正しくご記入いただけない場合には、適切な対応ができないことをご了承ください。2. 個人情報の共同利用: 収集した個人情報は、当事業の地域事務局として登録した都道府県及び市区町村と上記1.の利用目的においてのみ共同して利用します。3. 個人情報の管理: 収集した個人情報の漏洩、滅失、毀損または改ざんの防止、その他収集した情報の適切な管理を行います。また、事務局従業員及び業務委託先等に対して、個人情報の管理の指導と適切な監督を行います。4. 個人情報の訂正・削除・開示: 収集した個人情報は、ご本人から登録されている個人情報について訂正・削除・開示の請求があった場合は、迅速に対応します。第三者から開示の請求があった場合は、ご本人の承諾がない限り開示しません。ただし、個人情報保護法第23条第1項、第4項およびその他の法令の規定に基づく場合は、この限りではありません。情報の訂正・削除・開示を希望される場合は、当協会こどもエコクラブ全国事務局までご連絡ください。

あなたの街のこどもエコクラブ事務局

【お問い合わせ先】  
 こどもエコクラブは、子どもたちが誰でも参加できる環境活動のクラブです。  
**こどもエコクラブ全国事務局**(公益財団法人 日本環境協会)  
 〒103-0002  
 東京都中央区日本橋馬喰町1-4-16 馬喰町第一ビル9階  
 TEL:03-5643-6251 FAX:03-5643-6250  
 こどもエコクラブウェブサイト  
<http://www.j-ecoclub.jp/>  
 「エコまる」は公益財団法人日本環境協会の登録商標です。



このパンフレットはエコマーク取得の用紙を使って制作しています。

地球のワクワク! 発見しよう

# こどもエコクラブ



こどもには

ビックリ!

なんで?

が必要だ。

メンバー募集中!  
 こどもエコクラブ 検索  
 登録料・年会費無料

こどもエコクラブは、企業・団体・地方自治体など多くの方々に支えられている事業です。  
 公益財団法人 日本環境協会  
**こどもエコクラブ全国事務局**



## 生き物調査

川や森などの生き物ウォッチングを通して、生態系や生物多様性など、自然のしくみと生命のつながりを学びます。



## 地域クリーンアップ

地域ぐるみのゴミ拾いなどに参加することで、自分たちのくらす街を大切に思う心を育みます。

# 「なんで?」「どうして?」「もっと知りたい!」 自然に対する好奇心が、子どもたちを動かします。

## 「こどもエコクラブ」とは?

こどもエコクラブは、幼児(3歳)から高校生までなら誰でも参加できる環境活動のクラブです。子どもたちのエコ活動や環境学習を支援することで、身近な自然を大切に思う心と、問題解決のために自ら考えて行動する力を育みます。また、子どもたちが人と環境の関わりについて理解を深めることで、地域に根ざした環境保全活動の環が広がることを目的としています。

## こどもエコクラブ 3つの指針

「ワクワク!」  
を応援します。

「生きる力」  
を育みます。

「地域を想う心」  
を育てます。

自然への興味関心をきっかけに、子どもたちの感性と知的好奇心を育みます。自然を理解し守ることが、人間の生活だけでなく地球の未来にとっても大切なことを、五感を通して学びます。

活動の中で感じた疑問や課題に対して、自ら考え、判断し、行動する力を育みます。同時に仲間たちと一緒に学び、体験を共有することで、人を思いやる豊かな感受性を培います。

活動を通して自然環境に触れ、それを支える人々や地域文化を理解することで、自分の住む街を愛し、主体的に守ろうとする心を養います。

## 活動支援のしくみ

### サポーター

子どもたちの自主的な活動をあたたかくサポートする大人(高校生以上、代表サポーターは20歳以上)。主にこどもエコクラブ全国事務局や地域事務局との連絡係を担っています。

### 企業・団体

こどもエコクラブで活動する子どもたちのために、協賛、ご寄附、物品提供など、さまざまなかたちでご支援いただいております。



### コーディネーター

こどもエコクラブ地域事務局の担当の方。こどもエコクラブへの参加呼びかけや、各クラブが地域に根ざした活動をスムーズに行えるようコーディネートをしています。

### 全国事務局

さまざまな方々と企業・団体からのご支援・ご協力のもとに、こどもエコクラブの運営や広報活動、各種プログラムの企画・実施・場の提供を行っています。

## 登録料・年会費無料

いつでも登録OK!  
登録は本紙裏面  
またはホームページから

こどもエコクラブ

## 自然観察

自然は不思議の宝庫です。生き物が持つかたちや機能への興味を促し、子どもたちの知的好奇心を育みます。



自然に学び、地球の未来を担う  
子どもたちの全国ネットワーク

# こどもエコクラブで、地球のワクワク!発見しよう

エコまる



こどもエコクラブのキャラクター。イベントやホームページなどで、子どもたちの活動を応援しています。

## こどもエコクラブ全国フェスティバル

年に一度、全国のこどもエコクラブが一堂に会する一大イベント。子どもたちは日頃の活動を発表しあい、交流を深めます。



## メンバー登録～活動の流れ

### STEP 1 メンバー登録(登録料・年会費無料)

- 一緒に活動する仲間(3歳～高校生)と、活動を支える大人(20歳以上)を集めてクラブをつくり、登録します(1人でも登録可)。
- 裏面の登録用紙に必要事項を記入して、こどもエコクラブ全国事務局にメール・FAX・郵便で送ります。ホームページからも簡単に登録できます。

こどもエコクラブ

### STEP 2 登録すると

こどもエコクラブの証「メンバーズバッジ」と「メンバー手帳」がもらえます。

### STEP 3 活動スタート

興味のある身近な環境活動をスタート。何をしようか悩んだらメンバー手帳の「活動のヒント」や、ホームページの「活動レポート」、「エコロジカルとれーにんぐ」を参考に。

### STEP 4 活動報告

ホームページで報告を随時受付&公開中。活動報告をすると、アーススタンプと専門の先生からのアドバイスがもらえます。このほか、フォトコンテストや壁新聞・絵日記、地域交流会や全国フェスティバルなど、活動報告の場はさまざまです。



「活動レポート」はホームページで!

## メンバー特典

### 登録するともらえる!

#### メンバーの証!



「メンバーズバッジ」「メンバー手帳」 情報満載の「ニュースレター」



活動5回で「アースレンジャー認定証」

### 活動をつづけるともらえる!



3年継続すると「銀バッジ」  
6年継続すると「金バッジ」

### 安全のための【賠償責任保険】

こどもエコクラブ全国事務局は、こどもエコクラブに登録したメンバー、サポーターを「賠償責任保険」の対象として保険の手続きを行っています。詳しくはホームページをご覧ください。

### 運営体制

本事業は、平成7年から環境省が実施していた「こどもエコクラブ」事業を公益財団法人日本環境協会が引き継ぎ、地域の子どもの自主的な環境学習や活動を支援することを目的に、実施しているものです。

## お米・野菜づくり体験

農業・漁業体験などを通して、食の大切さを知り、食を支える人々や地域文化への理解を深めます。



## リサイクル活動

工作や研究、企業見学などを通して、循環型社会の重要性について学びます。

